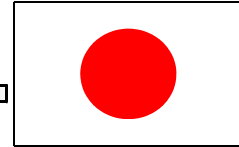


ホンジュラスだより



ホンジュラス



日本

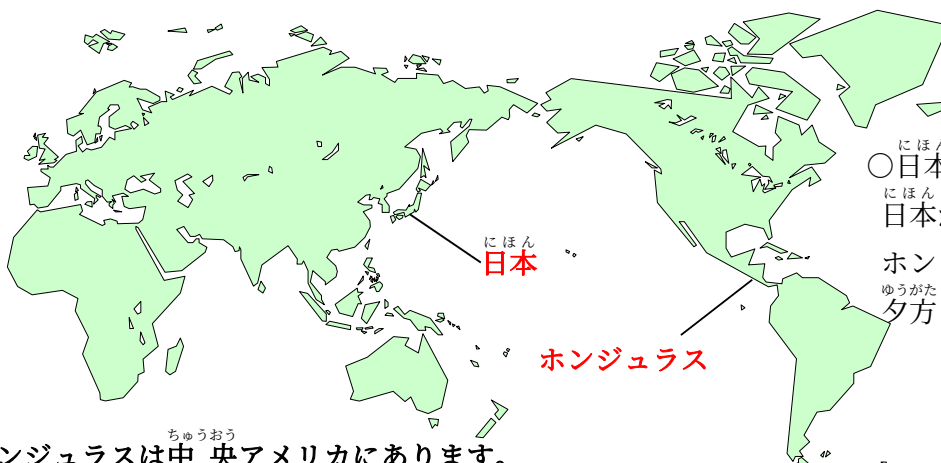
第1号 2003年12月

Firma

北勢門小学校の皆さん、こんにちは。田代芳恵先生です。覚えていますか？先生は今、青年海外協力隊としてホンジュラスという国に住んでいます。遠く太平洋を渡ったアメリカのさらに下のところにある国です。青年海外協力隊は JICA (国際協力機構) という組織の中のひとつです。JICA は、世界のなかでも食べ物がないで困っている国やお金がなくて学校や病院がきちんとできていない国などの手助けをしています。先生は子どもの頃から「人の役に立てることがしたい」と思っていました。すごいことはできなくても、小さいことでもいいから自分ができることはないかな？と考えていました。自分が何かの役に立てたと感じられることは自分自身がうれしいからです。そうしたらなんと！去年から学校の先生も青年海外協力隊にいけるようになったのです。世界は広いのでどんな国にいくのかわかりません。だけど勇気を出して応募してみました。そして一歩踏み出すことで、自分の前に新しい世界が開けたのです。

そして、今、先生はホンジュラスという国でがんばって仕事をしています。今回はホンジュラスの国と先生のここでの仕事について紹介したいと思います。

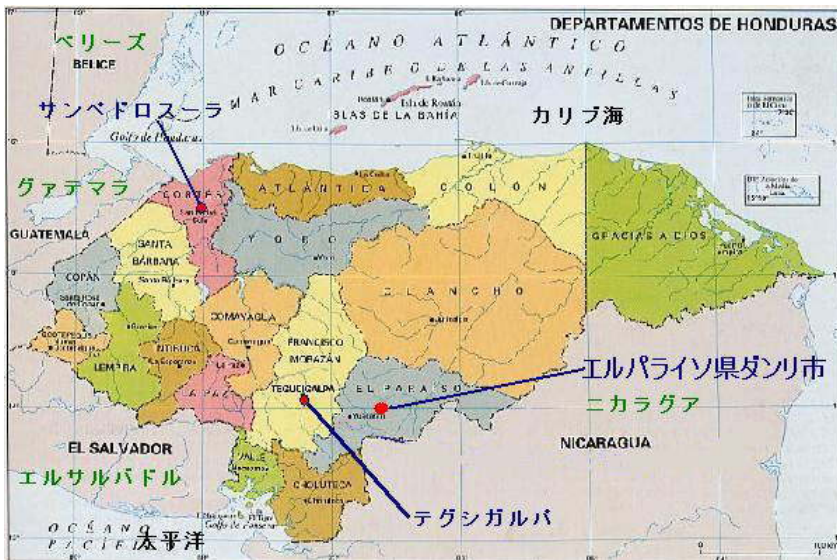
ホンジュラスの場所と大きさなど



○日本との時差は15時間。
日本が朝9時のとき、
ホンジュラスは前の日の
夕方6時です。

ホンジュラスは中央アメリカにあります。

このあたりは15世紀にコロンブスがスペインから船で渡ってきたところで、19世紀までスペインの植民地でした。歴史が好きな人は知っているかもしれませんが、昔はオルメカ文明やマヤ文明などのすばらしい文化があったところです。現在は小さい国がたくさん独立しました。ホンジュラスもその一つです。



ホンジュラスの大きさは112492平方キロメートルで日本の約3分の1で九州と四国をあわせたぐらいです。人口も658万人で日本の約20分の1ほどです。

ホンジュラスは赤道に近いとても大変暑い国です。しかし1000メートル以上の山々がたくさんあるので、ほとんどの人々は暑さをさけて山に住んでいます。先生はダンリ市というところ

ろに住んでいますが、ここも標高740メートルのところに作られた街です。でもいくら高いところといってもやはり暑い国なので、2000メートルを超える山にも一年中、緑の木々が生き生きとしています。12月の今でも少し肌寒くはなりましたが、半袖ですごせます。

首都はテグシガルパ。北のサンペドロスーラは商業の中心地です。北のカリブ海の島々では、イルカと一緒に泳ぐことができ、観光客でにぎわっています。西のコパン県では世界遺産に登録されているマヤ文明の「コパン遺跡」を見ることができます。東のグラシアスアディオス県にはもう一つの世界遺産「リオプラタノ生物圏保護区」というのがあり、マナティーやジャガーをはじめ、珍しい動物がたくさん住んでいます。ホンジュラスのものでは、バナナやコーヒー豆が有名です。バナナのシールで「Dole」というのをみたことありませんか？会社はアメリカにあります、ホンジュラスで作られているバナナです。

ホンジュラスで見かける日本のもの

ホンジュラスで一番多く見かける日本のものはなんといっても自動車です。道を走っているほとんどの車は日本車です。TOYOTA、NISSAN、HONDA、MITSUBISHI・・・。今では日本にはない古いタイプの車もここでは走っています。窓ガラスが割れたり、シートが破れていたり、ドアが閉まらなくなっているような、日本では使えなくなった中古車がここで大切に使われています。そして、日本の幼稚園バスも地域のバスとして人々の役に立っています。



また、SONY、Panasonic、HITACHI、

CASIO、TOSHIBA、Fujitsu、NECなどの日本の電化製品もたくさんあります。ホンジュラスの人たちは「日本は機械の国だ。」「日本のものは壊れないからいいね。」などといってくれます。先生が作ったわけではないのに日本のことをほめられるとなんだかうれしくなります。



ホンジュラスはスペイン語

ホンジュラスがある中央アメリカと南アメリカのほとんどはスペインの植民地だったのでスペイン語が話されています。先生もあまり上手ではありませんが、スペイン語で一生懸命話しています。先生はスペイン語なんていままで話したこともありませんでした。青年海外協力隊では、3ヶ月間の研修で、行く国の言葉を教えてください。先生は4月～7月まで長野県駒ヶ根市にある訓練所でスペイン語と体力作りをしました。言葉はもちろんですが、途上国ではどんなことがおこるかわからないので体力をつける必要があります。また日本にはない病気もたくさんあるので、予防注射を12回もうちました。一緒に勉強した人たちは220人です。みんなそれぞれ違う国にいくのです。



7月19日にホンジュラスに13人の仲間と一緒に到着しました。そのうちの6人は先生です。



ホンジュラスでは今、教育に力をいれているのだそうです。6人の先生は青森県、福島県、栃木県、茨城県、神奈川県、そして先生が福岡県出身です。住んでいるところは違いますが、小学校のことが話題になると、どの先生も目をきらきらさせて、大好きな子ども達のことを話します。(もちろん先生も!)そして外国の子どもと日本の子どもの架け橋になれたらいいね、と同じ思いを持っていることが何よりも心強く感じました。

さてホンジュラスに到着してから6週間、ホンジュラスの語学学校に通ってスペイン語を学びました。ホンジュラスの言葉遣いに慣れるためです。そして9月になり、13人の仲間はそれぞれ、自分の住む県へと向かいました。先生は看護婦さんと一緒にエルパライス県ダンリ市にやってきました。ここにこれから2005年の3月まで住むことになりました。いまではふつうの日常会話などはなんとか話せるようになりました。

★スペイン語を話してみよう! コーナー ★

Buenos días(ブエノス ディアス)

おはよう

Buenas tardes (ブエナス タルデス)

こんにちは

Buenas noches (ブエナス ノチェス)

こんばんは

Adíos (アディオス)

さようなら

Guracias (グラシアス)

ありがとう

そして一番よく使われる言葉は **Hola** (オラ) です。英語のハローにあたるかな? 道で人にあったときも、家の中でも使います。

あいさつするとき、女性どうし、男性と女性は右のほっぺをあわせてチュ! っと思いますが、男性どうしの場合は、握手をするだけです。(久しぶりの時は抱き合う。)

ホンジュラスでの先生の仕事

田代先生の仕事は、ホンジュラスの先生達に算数を教えることです。この国では高校を卒業したら先生になれるのですが、先生になるための試験もないし、みんな子どもの頃から算数が好きではないので、繰り上がりの足し算ができない人もいます。分数や割合もほとんど全員できないのでびっくりしました。それでは学校で子ども達に教えられないので、また算数ができない子どもが育っていきます。そうならないように、先生達に算数を好きになってもらって算数ができるようになってもらうのが先生の仕事なのです。



北勢門小学校のみんなは算数は好きですか？日本の算数の授業は、アメリカをはじめ、世界中の人たちがすばらしいといってまねをしているのだそうです。世界中のあちこちには、先生のように算数を教えに行っている日本人がたくさんいるそうです。そして、日本人は算数が得意なすごい国だと思われています。そしてホンジュラスの人たちは日本にあこがれています。もしもみんなが外国にいくことがあったら、「算数教えて！日本語教えて！」と言われると思いますよ。

先生達が算数を楽しく勉強してくれるのはとてもうれしいことです。でもやっぱり子ども達と一緒に勉強することの方がもっと楽しいと、ホンジュラスに来てみてははっきりとわかりました。なぜって、子ども達はあたらしいことを覚えるのが大好きだからです。ときどき、小学校で「算数や音楽の授業をさせてくださ〜い。」と訪ねていくことが何より楽しみです。今よりももっとスペイン語が上手になったら、もっともっといろんなことをしてみたいなあとと思っています。



では、北勢門小学校の皆さんも、自分の夢に向かってがんばってくださいね。またお便りします。

ホンジュラスより 田代芳恵先生

住所 Apartado Postal #105 Danlí, El Paraíso, Honduras, C.A.

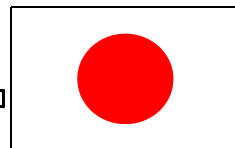
e-mail / Yossyp65@aol.com

HP / [http:// yossyp65.cside.com/](http://yossyp65.cside.com/)

ホンジュラスだより



ホンジュラス



にほん
日本

第2号 2004年1月

Firma

あけましておめでとうございます。みなさんはどんな冬休みを過ごしましたか？クリスマスプレゼントやお年玉をもらったり、おいしいお料理を食べたりして楽しく過ごしたことでしょう。さて、今ホンジュラスの小学校は長い冬休み？です。今回は小学校と、田代先生が住むダンリ市のクリスマスやお正月の様子などを紹介します。

ホンジュラスの小学校

日本は3月で学校が終わり4月から新しい学年となりますね。ホンジュラスでは11月の半ばぐらいに学年が終了し、そのあと6年生の卒業式が11月の終わりぐらいにあります。そして2月のはじめぐらいから新しい学年が始まります。なぜすべて「ぐらい」といって、学校によって日にちが違うからです。ですからホンジュラスの小学校は今、なが〜い休みの期間なのです。



ビシタシオンラ小学校
ダンリ市からバスで30分

授業は朝の7時〜12時まで

か昼の12時〜5時までのどちらかです。これも学校によって違いますが、たいいていは午前が1〜3年生、午後が4〜6年生のようです。これは教室の数が足りないからです。授業はほとんど国語（スペイン語）と算数しかしていません。音楽や体育、図工などはほとんどないし、給食もちろんありません。

さて、ホンジュラスの学校には大きな2つの問題があります。ひとつは小学校に入學しても家が貧しいために学校に行くことができ

ずに働く子どもが多いこと、もうひとつは学年が終わるときに試験があるのですが、試験の結果が悪くてもう1年やり直しになる子どもが多いことです。貧しい家の子は学校に行けないので試験も悪い点数になります。また学校に行っていても第1号でお知らせしたように、みんな算数が苦手なので（ホンジュラスの先生も算数が苦手）算数の点数が悪くて留年してしまうのです。ホンジュラスでは教科書は自分のものではありません。

学校のものなので、みんなで同じ教科書を何年も使っている



ルラルミクスタエステバン小学校
ダンリ市から車で1時間半



ラモンサナブリア小学校
ダンリ市からでこぼこ道をバスで1時間

のです。ですから自分で勉強することもできません。そして先生の数が足りないので、1つの教室に1～6年生までいる大変な小学校もあります。田代先生が算数を教えているほとんどの先生は、一人で何学年も教えている人たちばかりでとても大変そうです。子ども達もわからないときがあっても、教室にはほかの学年もいて先生も大変そうなのでなかなか質問できません。勉強したくてもできないということはとても悲しいことだなと思います。

小学校の卒業式

去年の11月27日、ダンリ市のマヌエル小学校で卒業式があったので行ってみました。ダンリ市は大きな町なので小学校が6つあります。マヌエラ小学校の今年の卒業生は112人でした。北勢門小学校と同じくらいではないでしょうか？ホンジュラスでは珍しい大きな小学校です。



卒業式で校長先生の話や教育委員会の方の話などがあるのは同じですが、なんと卒業証書は成績のよい人から順番にわたされるのです。これにはびっくりしました。そして学校の入り口にも成績のよい人はりだされてありました。上の写真の3人は今年の成績優秀者です。体育も音楽も図工もないのですから、なにで決めるのかというとスペイン語と算数などです。そうそう、ホンジュラス国歌の暗記（7番まである長い国歌です）というのもありました。みなさんはどう思

いますか？卒業式は午後3時から夜の8時まであります。なぜそんなに長いのかというと、食べたり踊ったり歌ったりという時間があるからです。ホンジュラスの人たちは大人も子どもも踊るのが大好き。あかちゃんは歩けるようになったらすぐに大人のまねをして踊りはじめるし、おじいちゃんもおばちゃんも踊りの腰つきは抜群です。ということで、小学校の卒業式もホンジュラス人にとっては踊るための大事なフェスタ（お祭り）。近所の人たちも集まって踊るのです。

ホンジュラスのクリスマス

ホンジュラスはキリスト教の国です。スペイン人がキリスト教を広げました。12月24日になるといつもは違う場所に住んでいる家族が、お母さんのいる家に集まってきます。（なぜお母さんか？そのあたりは第3号で紹介します。）田代先生の家にもお母さんの息子や娘たちが自分の子どもを連れて帰ってきました。



子どもは自分のお母さんについていくので、お父さんは自分のお母さんの家に一人で帰ります。そしてだいたいお正月過ぎまでお母さんの家にいます。

夕食は夜中の0時だということで、おなかもすくし、田代先生は白玉団子を作ってみました。きなこは「おいしい」と好評でしたが、あんこは「まずい」と言われました。ホンジュラスの小豆は塩味に

して毎日のご飯として食べるので、甘いあんこは気持ちが悪いみたいです。そのあとは家族でおしゃべりをして、9時になったらクリスマスプレゼントわたしがはじまりました。12人分のプレゼントを用意するのは大変でしたが、先生もたくさんのプレゼントをもらいました。

0時になるとみんな外へです。外ではバンバンと激しい音がしています。なんとホンジュラスのクリスマスは爆竹と花火でお祝いするのです。足で踏んだり投げたりしてすごい爆竹の音がしていました。そして「クリスマスおめでとう！」といいながらみんなで抱き合ってキスしました。先生の家族は1時半頃には寝ましたが、明け方近くまで爆竹の音が聞こえていました。なんともにぎやかなクリスマスでした。



25日の朝、チャイムの音がして玄関を開けるとこわいお面をつけた子ども達がたっていました。お金をもらいに来たようです。まるでハロウィンのようです。日本でもクリスマスではないけれど、似たような風習が残っている地域もありますね。



ホンジュラスのお正月

ホンジュラスのお正月はクリスマスほど重要ではありません。日本のようにお正月に向けて何かを準備するわけでもなく、クリスマスの飾り付けがそのまま残されて1月6日まで飾られているそうです。12月31日はクリスマスと同じように0時まで待ちます。そして0時になると同じように爆竹と花火でお祝いします。けれどもびっくりすることがありました。



なんと！人形を燃やすのです。この人形は「アニョ・ビエホ」という古い年の象徴で、これを燃やすことによって災いが消え去り、新しい年にはよいことがあるという儀式なのだそうです。人形の中には爆竹が埋め込まれているので、火がつくとすごい音を立てて爆発していきます。

地域によっては小さな人形でするところもありますが、これは人と同じ大きさだったので、なんともいえない気持ちになりました。人形が燃えてしまうと、みていた人たちは「フェリス・

アニョ・ヌエボ！」（新年おめでとう）といいな

がらクリスマスと同じように抱き合ってキスしていました。この日も明け方近くまで花火と爆竹の音が町に響いていました。そうそう、お年玉はありませんでしたよ。世界ではいろいろな新年の祝い方があるものだとびっくりしています。調べてみるとおもしろいかもしれませんね。



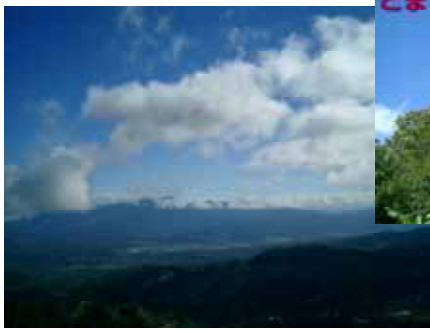
★スペイン語で話してみようコーナー★

¡Feliz navidad! (フェリス ナビダッ) クリスマスおめでとう
 ¡Feliz año nuevo! (フェリス アニョ ヌエボ) ^{しんねん}新年おめでとう
 ¡Feliz cumpleaños! (フェリス クンプレアニョス) おたんじょうびおめでとう

señor (セニョール) ^{おとこ}男 ^{ひと}の人への呼びかけ。英語のMr (ミスター)
 señora (セニョラ) ^{おんな}女 ^{ひと}の人への呼びかけ。英語のMrs (ミセス)
 señorita (セニョリタ) ^{わか}若い ^{おんな}女 ^{ひと}の人への呼びかけ。英語のMiss (ミス)

田代先生の冬休み

^{なが}長い冬休みを利用して先生はホンジュラスのいろいろな^{ちいき}地域に旅行に出かけました。



ティグラ国立公園 (標高 2000 m以上) 山
 全部が野生の動植物保護地区です。鳥の^{すがた}姿をみることはできませんでした。



海沿いの町テラ ^{むかし}昔、船への荷物の積み卸しの
 ために作られた海の上の鉄道です。今は使われて
 おらず、釣り人でにぎわっています。50 m以上海
 の上に突き出ているのでびっくり！古いので歩くのが怖かったです。

^{すなはま}砂浜で遊ぶ子ども達

プンタサル国立公園



小さな船に乗って1時間、カリブ海の小
 さな半島ですが、^{めずら}珍しい動植物が保護さ
 れています。ジャングルを^{ある}歩いたり、砂浜
 で泳いだりしました。写真はトゥカンとい
 う鳥です。野生の鳥ですが観光客なれして
 いるようです。^{かえ}帰りの船は波が高くなって、^{ふね}びしょぬれになった
 あげく、船が波に^{ふね}ががんと打ち付けられておしりが痛くなって
 しまいました。

それではまたお便りします。

ホンジュラスより

田代芳恵先生

住所 Apartado Postal #105 Danlí, El Paraíso, Honduras, C.A.

e-mail / Yossyp65@aol.com

HP / [http:// yossyp65.cside.com/](http://yossyp65.cside.com/)